

ペーパーグライダー Q & A

はじめて体験される方々からのご質問にお答えします

Q1. ペーパーグライダーは折り紙ひこうきとちがうの？

A. 折り紙飛行機は1枚の紙を折って飛ばすものですが、ペーパーグライダーは紙を切って貼りあわせて、実際の飛行機と同じような形状にしたもので、**実際の飛行機と同じ原理や仕組みで飛行**します。ペーパーグライダーの飛行性能は素晴らしく大空高く滑空する姿は実際の飛行機と見間違えるほどのものです。

Q2. ペーパーグライダーはどのくらい飛ぶの？

A. ペーパーグライダーを高く飛ばすために、ゴムパチンコ(カタパルトといいます)や手で投げあげるハンドランチ方式を用います。どちらも、陽光や風の条件が良ければ、1回のフライトで20秒から40秒くらいは飛ぶようになります。更に条件が整うと1分以上のビッグフライトも出現します。場合により、天高く舞い上がり、やがては点となって視界から消える“**視界没(しかいぼつ)**”を目撃できるかもしれません。

Q3. よく飛ぶペーパーグライダーはどうやって作るの？

A. まずは、ホワイトウイングスからはじめると良いでしょう。ホワイトウイングスは雑誌“子供の科学”に45年間もペーパーグライダーを連載された世界的紙飛行機設計者 二宮康明氏(工学博士、日本紙飛行機協会会長)によるものです。そして、ホワイトウイングスは**丁寧に、左右の翼のねじれに注意して、きちんと**作ることが大切です。更に、ちゃんと飛ぶための**調整**を何十回も繰り返し行くと、素晴らしく飛ぶようになります。ここは根性と智恵が必要です。また、機体を保管・運搬するときも翼が折れたりねじれないように箱(格納庫)に入れましょう。

Q4. よく飛ばすためのコツはあるの？

A. 飛ばし方のコツは、3点あります。**①機体の持ち方、②風に対する向かい方、そして③打ち上げる角度**です。何度も試しながら、どれが自分の機体に合っているかを調べておくとい良いでしょう。

Q5. どこで練習すればいいの？

A. **東京臨海広域防災公園の広場**で紙飛行機のイベントを開催している時には、自由にご参加ください。また、イベント開催以外の時には、**都立大島小松川公園自由の広場**で週末の午前中に仲間が飛ばしていますのでご参加ください。午後からは風が強くなりますし、広場への来園者が多くなるので、活動は午前中です。他は、都立水元公園や武蔵野中央公園など全国30箇所にも多くの仲間がいます。

Q6. どこで買えばいいの？

A. ホワイトウイングスはイオン、ヨドバシカメラ等で販売されています。また、株式会社あおぞらのインターネット販売(www.aozoraparl.jp)もあります。更に、誠文堂新光社から二宮先生の切り抜く紙飛行機集もシリーズで発売されています。ご家族で作って、飛ばして、走って、歩いて、楽しいコミュニケーションをしてみてください。

Answer : 小松秀二(全日本紙飛行機選手権大会 優勝3回)